

新景観政策10周年記念

平成29年度
京都景観賞
建築部門



市民による自治120年



京都市
CITY OF KYOTO

ごあいさつ



京都市長

門川 大作

多くの市民や関係団体の皆様から御意見を頂き、市会での熱い議論の末に実現した「新景観政策」。今年度、実施から10年の節目を迎えました。

当時を思い返しますと、不況からの脱脚のため全国で規制緩和が叫ばれ、高層ビルが次々と建てられていく。そうした時代に本市では、「今始めなければ取り返しのつかないことになる」とあえて徹底した規制強化を行いました。

これは、京都の優れた景観を未来の世代に継承するという、私たち市民に課せられた責務を果たし、50年後、100年後の京都を見据えた景観づくりを始めるための大きな決断でした。そして、市民の皆様、事業者の皆様の御理解、御協力をいただきながら着実に実行してまいりました。改めて、皆様に心から感謝申し上げます。

今年度の京都景観賞は、「新景観政策10周年記念事業」として「建築部門」を実施。新景観政策以降に新たに整備された建築物を募集しました。79件もの御応募を頂き、そのいずれもが地域の景観に調和しつつ、斬新なアイデアも見られる素晴らしいものばかりでした。それらの中でもひとときわ優れた建築物を厳選し、この度の各賞をお贈りします。

新景観政策の実施により、この10年の間に京都の景観は劇的に向上しました。国内外からも高く評価され、市民の皆様にも政策の効果を実感いただいています。これもひとえに、建築主や設計者、施工者の皆様が、京都の景観とその背景にある自然、歴史、文化、地域コミュニティを深く理解したうえで、常に本物を追求しながら新たな要素を取り入れ、京都のまちにふさわしい建築物を世に送り出し続けてこられた結果です。厚く御礼申し上げます。

景観は、都市の様々な営みの現れ。そこに暮らし、働いておられる皆様と、建築に携わる皆様の御理解と御協力がなければ、優れた景観を創り出すことはできません。これからも共に力を合わせ、景観を守り、育て、創り、活かすことで、京都ならではの建築文化を発展させてまいりましょう。

京都景観賞建築部門 総評



京都景観賞建築部門審査委員会委員長

門内 輝行

京都市は平成19年に「新景観政策」を策定し、高さ規制、デザイン基準、屋外広告物等に関する規制などの見直し、眺望景観の保全に関する新たな条例の制定などに積極的に取り組んできましたが、この「新景観政策」の実施から10年を迎えた平成29年度は、「京都から考える これからの歴史・文化・創造都市」という統一テーマを掲げて、特別鼎談や連続講座、京都市景観市民会議、総括シンポジウム等の記念事業を実施してきました。

京都市では、景観行政の一つの方策として、平成24年に伝統文化の継承と新たな創造が調和する創意あふれる景観づくりを表彰する「京都景観賞」を創設し、年度ごとに「屋外広告物部門」（平成24、25、27年度）、「建築部門」（平成26年度）、「景観づくり活動部門」（平成28年度）を実施しており、今年度は「新景観政策10周年記念事業」の一環として「建築部門」を実施することになりました。

公募対象は京都市内で「新景観政策」を始めた平成19年9月以降に新築された建築物や、増築、改築、用途変更等による整備が行われた建築物とし、自薦・他薦を問わず募集したところ、短い募集期間にもかかわらず、79件の御応募をいただきました。建築部門では、①地域の自然・歴史・文化、周辺の町並み・コミュニティ等に配慮した建築物で、今後の京都の景観形成の指標と目されるもの、②独自の工夫や創造的な視点により、新たな京都の景観形成の可能性を示唆するもの、という2つの観点から特に優れていることという基準で、審査を実施しました（前回の審査基準と同じです）。

第1回審査では、前回表彰を受けた2件を除く77件を対象として書類審査を行い、現地審査対象10件を選び、第2回審査は現地審査を行った上で実施しました。その結果、最終的に市長賞3件、優秀賞2件、奨励賞8件を決定することができました。

応募作品を概観しますと、町家風の作品が多い、宿泊施設が多様化している、改修が相当数含まれている、といった傾向が認められますが、建築の規模・種類、設計者・施工者・建築主、立地環境などの観点から見て、実に多様な作品がありました。その中から受賞対象作品を選ぶことは、審査委員会の価値観や評価尺度が問われることでもあるわけで、緊張感をもって審査に当たりました。

これからの建築には、単体として優れているだけでなく、周辺の建築や町並み、都市・コミュニティ、歴史・文化・自然などとの関係に配慮することにより、美しい景観を紡ぎ出す、コミュニティを育む、都市の活力を生み出す、地域の景観・文化を継承し創造することに貢献することが求められると思います。今回選出した多岐にわたる作品群を通して、京都の伝統的な景観を保全・再生するとともに、新たな京都の景観を創造する建築の可能性やデザイン作法を読み取っていただければ幸いです。



市長賞

NHK京都放送会館

【所在地】中京区烏丸通御池下る虎屋町576番地
 【用途】事務所(放送局)
 【構造】鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
 【規模】地上5階・地下1階
 【施工年】平成26年竣工(新築)
 【景観規制】沿道型美観地区 都心部幹線地区、旧市街地型美観地区

【建築主】日本放送協会
 【設計者】株式会社 東畑建築事務所
 【施工者】株式会社 大林組



平成27年に移転したNHK(日本放送協会)の京都放送局である。

建設地は、京都を代表するビジネス街である烏丸通沿道であり、シンボルロードとして整備された御池通にも近く、地下鉄烏丸御池駅に隣接する商業・業務の中心地にある。敷地の東側は烏丸通、南側は姉小路通、西側は両替町通と、三方を道路に囲まれており、31m高度地区及び沿道型美観地区(都心部幹線地区)、旧市街地型美観地区に指定されている。

外壁の大部分を占めるガラスで覆われたダブルスキン部には、水平庇により壁面の分節を行うとともに、ガラスの内側の居室部分には木製格子を設けることで奥行き感のある京都にふさわしい外観を形成している。

また、西側の両替町通沿いは外壁の

後退及び沿道の緑化を行い、南側の姉小路通沿いには地域に開放された「姉小路通回廊」を設けるなど、烏丸通沿道以外のヒューマンスケールの町並み、各通りの特性に配慮したきめ細かなデザインがなされている。

さらに、アンテナを設置するために屋上部に高さ制限を超える鉄塔を設けるにあたり、鉄塔の存在感を極力抑え、機能上支障のない範囲でルーバーにより修景し、京都市美観風致審議会での審議を経て、市から建物全体の外観デザインも含めた特例認定を受けている。

エントランス前に設けられた広場、1階エントランスホールに設けられた吹き抜けの視聴者公開スペースや2階テラスなど、市民や観光客にも開かれた空間が設けられ、京都の中心地の中にゆとりと賑わいを創出している。

受賞者の声

この度は京都景観賞市長賞を賜り、厚く御礼申し上げます。NHKの放送会館として開かれた施設づくりを行うとともに、烏丸通沿いに建つ京都にふさわしい中・高層建築を目指しました。開館以来非常に多くの視聴者・市民の方にご来館いただき、今後も皆様に末永く愛され続ける施設となることを願っております。

株式会社 東畑建築事務所



市長賞

数研出版 関西本社ビル

【所在地】 中京区烏丸通竹屋町上る大倉町205番地
 【用途】 事務所
 【構造】 鉄筋コンクリート造
 【規模】 地上4階地下2階
 【施工年】 平成27年竣工(新築)
 【景観規制】 歴史遺産型美観地区 一般地区

【建築主】 数研出版 株式会社
 【設計者】 株式会社 竹中工務店 大阪一級建築士事務所
 【施工者】 株式会社 竹中工務店 京都支店



京都発祥の教育系出版社の本社ビルである。

建設地は京都御所の近傍にあり、歴史遺産型美観地区及び15m高度地区に指定されている。建物が面する烏丸通は、大正期に京都御所と京都駅を結ぶ行幸道路として拡幅され、金融機関やオフィスビルが集積し、京都のビジネスの中心的な役割を果たす通りである。

烏丸通に面した外観は、各階のシャープな庇と軒がつくる明瞭な陰に、外壁前面にアルミキャスト（アルミ鋳物）でつくられた透過性をもつ格子状のファサードを設けることで、濃淡と溜りのある深い陰影と端正さを持ち合わせた大らかな佇まいを生み出している。企業のロゴマークを巧みに取り入れたアルミキャストのファサードは、グレー系の色彩であるにも関わらず、陰影によ

り温かみや品格を感じさせてくれる。前面に縁側のような層を設けることで、通りに対して開くでも閉じるでもない京都らしい空間を構成している。

また、屋上中央には庭園を設け、屋上景観の向上にも寄与するとともに、3階の一部をテラスとし、烏丸通沿道から空への視線の抜けをつくり、長大な壁面に変化をもたらししている。1階の北東角には奥性をもったアプローチ空間を設け、地下鉄丸太町駅の出入り口を違和感なく建物内部に取り込んでいる。

立地特性から求められる「京都御所近傍の気品」と「未来へ受け継ぐ革新的な京都らしさ」に加えて、「智」を創出する出版社としてのアイデンティティを表現することで、新たな烏丸通の都市景観を創生した優れた建築である。

受賞者の声

この度は、「市長賞」を賜り、関係者一同厚く御礼申し上げます。京都発祥の「智」を創出する出版社の関西本社ビルとして、軒と縁側による深い陰影、素材感による彩を意識しながら、京都のデザインコードとコーポレートアイデンティティを纏う建築として表現しました。これからも地域の皆様に永く愛される建築となることを願っております。

竹中工務店 設計部
吉田 直弘



提供:岡田大次郎 (P7下写真除く)

市長賞

三条しらかわ小路

【所在地】東山区栗田口三条坊町
 【用途】簡易宿所
 【構造】木造
 【規模】地上2階
 【施工年】平成29年竣工(新築)
 【景観規制】旧市街地型美観地区

【建築主】みやこエステート 株式会社
 【設計者】A-Studio 一級建築士事務所
 【施工者】有限会社 辻工務店



旅館業法の許可を受けて新設された、4棟の客室棟が並ぶ宿泊施設である。三条通から祇園へと流れる白川沿いから東に入った閑静な住宅街にある建設地は、地下鉄東山駅に近く、付近には平安神宮や青蓮院門跡、知恩院が立地しており、12m高度地区及び旧市街地型美観地区に指定されている。変形地で間口が狭く、奥に長い形状の建築条件が厳しい敷地において、京都の路地に建つ長屋の空間構成を取り入れ、敷地内に各棟へのアプローチとして石畳敷の路地を整備し、その路地に面して4軒の木造2階建ての連棟建物を新築したものである。道路に面した入口には瓦屋根葺きの門に木製の格子戸が設けられ、その奥へと続く路地に沿って建つ京町家風の意匠を有する連棟建物は、新築され

たものでありながら、周囲の町並みに溶け込み、京都の古き良き町並みである美しい路地の風景を再現している。今回の整備に合わせて、敷地北側に隣接する公園の管理者である京都市と協議し、敷地境界の京都市が所有するブロック塀の上に設置されていた金属製の柵を撤去し、事業者の負担でブロック塀の上端に和瓦を設置している。敷地南側には地域の「お地藏さん」が置かれている土地があるが、同様に事業者の負担で、敷地境界の塀の塗装を行い、和瓦を設置している。このように、敷地内だけでなく、近隣とコミュニケーションをとり、敷地の周辺まで含めて町並み景観を再生している点も評価できる。

受賞者の声

この度は京都景観賞「市長賞」を賜り、厚く御礼申し上げます。弊社は京都で不動産業を営むものとして、京町家は京都の美しい町並みを形成する重要な要素であるという思いから、町家の保存・改修を手がけて参りました。今回、この建物と同じ町内に存する青蓮院門跡寺院や、白川などの名所と調和し、景観を守る建築物として、石畳の路地に面した連棟町家を建築しました。今後、微力ながら京都の景観形成に寄与できればと考えております。

みやこエステート 株式会社
 代表取締役 原田 昭石



提供:株式会社hi-nge



提供:古川泰造

優秀賞

THE HOTEL KIYOMIZU 祇園

祇園界隈に建つ5階建てのホテルである。松原通に面したファサードは、瓦屋根の庇と木製格子や建具からなる1階・2階部分と、2階壁面から少しセットバックした、ガラス面とその奥の障子が重層する3階から5階の部分から構成されており、周囲の伝統的な町並みとの調和が図られている。北面するガラス面は直接日射を浴びることも少なく、和風の障子の意匠とも相俟って、低層の町並みに圧迫感を与えることなく、全体として上品で控えめな京都らしさを演出している。

受賞者の声

この度の受賞を関係者一同心より光栄に感じています。「旅を、もっと、特別に」を基本コンセプトとし、建物は京都らしさを現代的に表現することを目指しました。お客様にも市民の皆様にも永く親しまれ、旅館のような温もりのあるホテルとなることを目標にしています。

新光商事 有限会社
代表取締役 佐藤 正剛



提供:石田博紀



提供:石田博紀

【所在地】東山区松原通大和路東入弓矢町
【建築主】新光商事 有限会社
【設計者】関智之 建築設計事務所
【施工者】株式会社 日新
【用途】ホテル
【構造】鉄骨造
【規模】地上5階
【施工年】平成28年竣工(新築)
【景観規制】旧市街地型美観地区

優秀賞

宝ホールディングス歴史記念館

伏見の旧市街の創業の地に、創立90周年を記念して計画された社員研修施設である。伏見の酒蔵を連想させる白い漆喰塗りの平面31m角ヴォリュームの頂部に方形屋根をかけ、その深い軒と低層部の庇によって長大な外壁を分節し、周辺の町並みに圧迫感を与えることなく、存在感を主張している。外観の細部に至るまで精巧にデザインされた完成度の高い建築物である。施設の性格上外周には白い塀がめぐらされているが、道路に面した敷地の一部を歩道として地域に開放している点も評価できる。

受賞者の声

この度は、京都景観賞「優秀賞」をいただき誠にありがとうございます。この建物が、東山三十六峰から連なる「アカマツ」の庭や、「蔵」を想起させる漆喰調仕上げによる白壁により、古き良き伏見の景観と接続しながら、旧市街地美観地区の新たな町並み形成に貢献できたのであれば、関係者一同とても嬉しく思います。

株式会社 竹中工務店
大阪本店設計部 米津 正臣



提供:稲住写真工房



提供:古川泰造

【所在地】伏見区竹中町609
【建築主】宝ホールディングス 株式会社
【設計者】株式会社 竹中工務店 大阪一級建築士事務所
【施工者】株式会社 竹中工務店 京都支店
【用途】社員研修施設
【構造】鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・鉄筋コンクリート造
【規模】地上3階
【施工年】平成29年竣工(新築)
【景観規制】旧市街地型美観地区



中井工業本社ビル

【所在地】 上京区大宮通今出川上ル観世町
【建築主】 株式会社 ナカイ
【設計者】 株式会社 竹中工務店 大阪一級建築士事務所
【施工者】 株式会社 竹中工務店 京都支店

【用途】 事務所
【構造】 鉄骨造
【規模】 地上3階
【施工年】 平成28年竣工(新築)
【景観規制】 歴史遺産型美観地区
千両ヶ辻わい景観整備地区

受賞者の声
西陣地区の伝統的町並みを、格子・勾配屋根・中庭・色調・スケール・繊細な照明など、今日的マテリアルにより再構成し、京都市の中規模町家型オフィスのプロトタイプとして仕立て直しました。

株式会社 竹中工務店 大阪一級建築士事務所
設計第6部門副部長 森田 昌宏



北白川伊織町の家(小林邸)

【所在地】 左京区北白川伊織町64
【建築主】 小林 四郎 小林 美代
【設計者】 有限会社 テクトスタジオ
【施工者】 株式会社 田中工務店

【用途】 専用住宅
【構造】 鉄筋コンクリート造
【規模】 地上2階
【施工年】 平成24年(改修)
【景観規制】 山並み背景型建造物
修景地区

受賞者の声
建築家増田友也氏が1956年に設計した住宅を全面リフォームしました。増築されていた部分を減築し、元のデザインとモジュールを尊重しながら改修を行いました。陸屋根の外断熱や大きな開口部の断熱化など、意匠を変えずに居住性を高めるように工夫しています。

テクトスタジオ 荒川 晃嗣



お茶屋貴久政

【所在地】 東山区宮川筋5丁目
【建築主】 水野 秀一
【設計者】 株式会社 サンキ建設
【施工者】 株式会社 サンキ建設

【用途】 店舗併用住宅
【構造】 木造
【規模】 地上3階
【施工年】 平成29年竣工(新築)
【景観規制】 歴史遺産型美観地区
祇園町南歴史的景観
保全修景地区 宮川町地区

受賞者の声
観光車両も多く通る川端通りに面し、間口も広いので、他の花街とは異なる趣ある宮川町の佇まいを大切に、町家らしい外観を創り出すことを目指しました。

株式会社 サンキ建設



建仁寺の家

【所在地】 東山区小松町
【建築主】 北尾 茂人
【設計者】 株式会社 サンキ建設
【施工者】 株式会社 サンキ建設

【用途】 一戸建ての住宅
【構造】 木造
【規模】 地上2階
【施工年】 平成19年竣工(新築)
【景観規制】 旧市街地型美観地区

受賞者の声
花見小路から直接見通せるため、街並みとの調和はかり、祇園らしいデザイン・色彩となっています。京都の街並み形成の一助となれればいい限りです。

株式会社 サンキ建設



京都市立八瀬小学校

【所在地】 左京区八瀬秋元町323
【建築主】 京都市
【設計者】 株式会社 佐藤総合計画
【施工者】 吉村建設工業 株式会社(校舎棟)、株式会社 南山建設(体育館棟)

【用途】 小学校
【構造】 鉄筋コンクリート造・木造・鉄骨造
【規模】 2階
【施工年】 平成24年竣工(新築)
【景観規制】 風致地区 第3種地域

受賞者の声
八瀬の山あいの澄み切った空気の中に溶け込むよう高さを抑え、勾配屋根を連続させて一体感をもたせている。1、2階の間の連続庇や、みやこ杣木を用いた壁面の分節化により、親しみを感じる意匠とした。

佐藤総合計画 井下 仁史



ハレニワの家

【所在地】 左京区岩倉花園町
【建築主】 株式会社 S&Gハウジング
【設計者】 A.C.E. 波多野一級建築士事務所
【施工者】 株式会社 ハウスバンクインターナショナル
【ディレクター】 株式会社 エイトブランディングデザイン

【用途】 一戸建ての住宅
【構造】 木造
【規模】 地上2階
【施工年】 平成28年竣工(新築)
【景観規制】 風致地区 第3種地域

受賞者の声
分譲住宅のデザイン次第で、住宅街の風景は大きく変わる可能性があります。「ハレニワの家」は風景をつくる分譲住宅として、住宅単体のみならず、群になった際に京都の緑豊かな環境に映える景観を作り出し、広域の地域景観に寄与することを目指して計画しました。

A.C.E.波多野一級建築士事務所
波多野 崇



京都市立京都工学院高等学校

【所在地】 伏見区深草西出山町23
【建築主】 京都市
【設計者】 株式会社 類設計室
【施工者】 長村・デザオ特定建設工事共同企業体

【用途】 高等学校
【構造】 鉄筋コンクリート・鉄骨造
【規模】 地上2階、地下1階
【施工年】 平成28年竣工(新築)
【景観規制】 風致地区 第2種地域

受賞者の声
地域に開かれ、創作活動が表出する360度ガラス張りの創造空間「クリエイトCUBE」を校門正面に新設しました。ものづくりを学ぶ生徒の探究心や相互触発が恒常的に生み出されていくことを期待しています。

株式会社 類設計室
ディレクター 喜田 育樹



龍馬通り壱番館

【所在地】 伏見区南浜町259
【建築主】 ディラント山京 株式会社
【設計者】 A-Studio 一級建築士事務所
【施工者】 株式会社 創美建築企画

【用途】 飲食店
【構造】 鉄筋コンクリート造
【規模】 地上2階
【施工年】 平成28年竣工(新築)
【景観規制】 歴史遺産型美観地区
伏見南浜界わい景観整備地区

受賞者の声
この度の受賞を誠に光栄に存じます。龍馬の足跡が残る商店街に相応しい趣をもった京町家の店舗を造ることができました。地元の賑わいの一部となっていくことを願っています。

ディラント山京 株式会社
代表取締役 伊藤 良之



奨励賞総評

「北白川伊織町の家(小林邸)」は、建築家増田友也が設計した住宅を、当初の意匠を尊重しながら居住性を高めるように改修したものであり、住まい手の住宅の内部空間や外観に対する深い愛情が感じられる。

「ハレニワの家」は、家の機能や個々の見え方だけでなく、群になった際に、家と庭で「景観」を創り出すことを意識して行った住宅地開発であり、自然豊かな京都の岩倉地区の地域特性と調和する新たな町並みを創り出している。

「中井工業本社ビル」は、金銀系の製造で培った技術を最先端技術に展開している企業が西陣の地で事業を継続するために建設した建物である。新しい材料等を用いつつ京町家のスケールや空間配置を継承し、周囲の町並みに配慮がなされている。

花街である宮川町に建つ「お茶屋貴久政」と、祇園町南に隣接する「建仁寺の家」は、周囲の歴史的な町並みに調和した新築の木造建築であり、町並み景観の向上に寄与している。

「龍馬通り壱番館」は伏見南浜の伝統的町並みに調和するとともに、商店街のにぎわいの再生に貢献している。

「京都市立八瀬小学校」と「京都市立京都工学院高等学校」は、共に新たに整備された公立の学校建築であり、地域の景観向上に寄与している。

以上、奨励賞の作品の講評をごく簡単に述べたが、それぞれに伝統文化の継承と新たな創造が調和する景観の形成を目指した優れた作品であり、「優秀賞」に匹敵する作品も少なくない。名称は「奨励賞」であるが、優れた作品として表彰するものであることを御理解いただければ幸いである。

受賞一覧

- 市長賞
- NHK京都放送会館

数研出版 関西本社ビル

三条しらかわ小路
- p03-04

p05-06

p07-08

- 優秀賞
- THE HOTEL KIYOMIZU 祇園

宝ホールディングス歴史記念館
- p09

p10

- 奨励賞
- 中井工業本社ビル

北白川伊織町の家(小林邸)

京都市立八瀬小学校

ハレニワの家

お茶屋貴久政

建仁寺の家

京都市立京都工学院高等学校

龍馬通り壱番館
- p11

p11

p11

p11

p12

p12

p12

p12

【写真提供】表紙・裏表紙掲載写真
三条しらかわ小路：岡田大次郎
THE HOTEL KIYOMIZU 祇園：株式会社hi-nge
宝ホールディングス歴史記念館：古川泰造
北白川伊織町の家(小林邸)：スタジオバーン 村岡章年

京都景観賞建築部門について

目的		
京都の景観と調和し、更に創造的な視点が加えられた優れた建築物を表彰することにより、現代における京都の建築文化を発展させ、世界に発信することを目的とします。		
審査基準		
次の観点から特に優れていること		
●地域の自然・歴史・文化、周辺の町並み・コミュニティ等に配慮した建築物で、今後の京都の景観形成の指標と目されるもの		
●独自の工夫や創造的な視点により、新たな京都の景観形成の可能性を示唆するもの		
対象建築物		
京都市内で平成19年9月以降に新築された建築物や、増築、改築、用途変更等による整備が行われた建築物。ただし、平成26年度京都景観賞建築部門で表彰されたものを除く。		
募集期間		
平成29年7月25日(火)～平成29年9月30日(土)		
応募総数		
79件 (うち、平成26年度に表彰を受けた2件を除き77件が選考対象)		
審査委員会		
第1回（書類審査）		平成30年1月12日(金)
第2回（現地審査、最終選考）		平成30年2月4日(日)
審査委員会委員		
門内 輝行	委員長	京都大学名誉教授、大阪芸術大学教授
竹山 聖	委員	京都大学大学院教授
中島 醇子	委員	市民公募委員
中嶋 節子	委員	京都大学大学院教授
藤井 秀昭	委員	市民公募委員
堀木 エリ子	委員	株式会社堀木エリ子&アソシエイツ代表取締役
宮城 俊作	委員	設計組織PLACEMEDIAパートナー、宗教法人平等院代表役員



第1回審査会の様子



現地審査の様子



この印刷物は、不要になりましたら
「燃費法」としてリサイクルできます。
コミュニティ図版や各課図版等
にお出ください。



京都市 都市計画局 都市景観部 景観政策課
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る 京都市役所北庁舎2階

京都市印刷物第293211号 平成30年3月発行